

広報モニターアンケート【11月号】

○今月号の内容について

ページ	コーナー名	調査項目	評価 (5段階)	ご意見
3	市功労者表彰式	テーマ・内容	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・表彰の内容も記載されており、功績が分かりやすかった。 ・トップページで扱う題材だろうか。関係者には名誉なことであるが、一般読者の関心度からすれば…広報紙での特別紹介に「敬称略」は馴染まない。見た目にも柔らかい今風の「さん」付け表現で敬意を表すことはできないものか。 ・いろんな方々が長い年月を市民のために働いておられることを改めて知ることができた。 ・地区名は、入れることができないのでしょうか。
		文章	3.6	
		写真・イラスト	3.8	
		レイアウト	3.8	
4~7	特集 地域でつくる 子どもたちの放課後	テーマ・内容	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの笑顔の写真がとてもよく撮れていて、楽しそうな雰囲気が伝わってきます。 ・自分の住む地域にはないので、存在すら知らなかった。昔は学校へ自然に放課後集まり、遊んでいたが、今は子どもたちの行き場がないのが現状なので、良い活動だと思った。 ・「エッ…？」と思わせる意外性・納得性のある特集で視点もよい。写真もロングとアップが適量に混ぜられて全体配置も悪くない。インタビューの割付も安定感がある。記事も柔らかい表現・流れで生まれ、サラッと読める文章である。 ・今までスポットが当たることがなかった放課後子ども教室の特集は、学校と家庭と地域のトライアングルの中に潜む一種の課題提起としてねらいどころのよい企画だった。学校教育・本来の学習活動の中で、異年齢集団学習や地域との交流はもっともっと積極的に実践・紹介されることが望ましい。 教室運営は軌道に乗っているように見受けられたが、本事業がスタートした当初の関係者の苦労話を聞けば、本来なら歩み始めた3年前にこの紹介があって、さまざまな地域支援を促すとともに地域の関心を高めるべきだったのかもしれない。 願わくは、5年経過してなぜ現在5校だけの開設なのか、少し説明があってもよかった。未実施校の保護者は、「自分の校区ではなぜ実施されないの？いつから始まるんだろう？何人くらい入れるのかな？」という素朴な疑問と期待感に応える意味でも、そういう追記があればよかった。 ・学童保育と放課後子ども教室の目的は、異なるものだと理解しています。その問題点や課題もあると思うので、そのことに触れてもいいのではないかと思った。
		文章	3.8	
		写真・イラスト	4.4	
		レイアウト	4.0	
8~9	土地開発公社の 解散について②	テーマ・内容	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ終わりの見えない問題なので、途中経過を記事にしてほしいと思います。 ・前回同様、文字が多くて読む気が失せます。 ・市の財政にとって、大切なことで、理解しようとはがんばりましたがダメだった。 ・やはり、分かりにくい。でも、これもしっかりと知らせていく必要があると思う。 ・市民に理解を求める広報紙の記事内容としては最悪である。何度読んでも分からない。「分かっている人が、分かっている人に説明する」関係者説明用の文章そのままに近い内容に愕然。明らかに高い目線。巨額の損失責任は顧みず、市民負担の補填は当然という役所気質マル出しの強引な内容に辟易。複雑難解な文章、これで理解せよとは…。市民への説明としては目線がズレている。こういう状況になったことへの公社及び市当局の謝罪や責任所在表明が一行たりとも書かれていない。
		文章	2.6	
		写真・イラスト	2.8	
		レイアウト	2.8	

10	ストップいじめ！ その②学校では	テーマ・内容	4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく書かれていると思う。いじめられている側ではなく、いじめる方の側について書いてほしい。誰でもいじめる側・いじめられる側になる可能性を含んでいると感じます。 ・サインを見逃さないでのチェックがとてもよかった。これからも大切にしなければならないことなので、シリーズ化を望みます。 ・この記事を読んだ人が、大人・家庭が見守る必要があると思ってもらえたらよい。 ・分かっているようで、実は見過ごしている…ということはよくあること。そういう意味でも「家庭でのチェック12項目」は適切な提示と言える。文章も堅苦しさがなく、具体的に流れるようなセンスのよさを感じさせる。ただ、島委員長の名前と写真の位置が唐突な感じで、寄稿文とは直接読み取れない。 ・じっくり読むと、とても内容の濃いものになっているが、メリハリがないので、流し読みしてしまう。とてももったいない気がしました。
		文章	4.4	
		写真・イラスト	3.6	
		レイアウト	3.8	
11	Let'sリサイクル lesson2 ペットボトル	テーマ・内容	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・数字が使われていて、見やすい記事だと思った。 ・ペットボトルを大きく打ち出していて、それぞれの分別の仕方が記入されているので、とても分かりやすかった。 ・写真やレイアウトが、とても分かりやすいと思った。汚れや異物を手作業でチェックするのは驚きました。きれいに洗って出すように心がけようと思いました。 ・本当にペットボトルがこのいろいろなものに変わるのかという疑問が解決するのではないのでしょうか。 ・せっかくの提案も、こういう内容のシリーズ企画では新鮮味に欠けるという印象が強かった。リサイクル枠の中での雑誌とペットボトルは、やはりひとくくりの範疇ということなのかもしれない。今後の連載企画を考える際の指標として心したい。年間142万本という数字はヒット。
		文章	3.8	
		写真・イラスト	3.8	
		レイアウト	3.8	
12~13	ふぉと☆かしば	テーマ・内容	4.6	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の秋祭りを一気に見ると、すごい迫力があつた。 ・12自治会の秋祭りの写真は圧巻。こういう街の熱気を伝える企画は、各自治会のひと言コメントを載せるなど、2ページを使った大型企画に格上げしたい。街の話題としては、「市民フェスタ」より身近な地域住民づくりイベント。単に見物・参加するだけでなく、地域全体が関わって作り上げていくことの意味を大切にしたい。「市民フェスタ」の笑顔の写真構成も好感。 ・いつも地域の方々の楽しい雰囲気が伝わるページで、とても好きです。 ・楽しそうな活気あるようすが溢れていた。
		文章	4.4	
		写真・イラスト	4.6	
		レイアウト	4.4	
14	マイヘルスマイライフ 大腸がん検診を 受けよう	テーマ・内容	4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・以前に比べ、内容も分かりやすく、濃いものになって興味深く読んだ。レイアウトもよかった。 ・大腸がん検診は、受けたことがないので、受けてみようと思った。 ・乳がん→子宮がん→胃がん→大腸がんと続く検診勧奨シリーズは、十分に価値のあるコーナーになってきた。検診結果の数字提示も適切である。が、少し説明不足。数字はどこを検診結果なのか、対象者・受診者は何を元にした数字なのか補足がほしい。受診率15.7%は決して高い受診率ではないと思う。いたずらに危機感をあおる必要はないが、やはり受診率アップの秘策をこめた周知が望まれるところです。 ・大腸がんの検診がどうしても必要かということをもう少し出してもいいのではないか。高齢者にも分かりやすく。
		文章	3.6	
		写真・イラスト	3.4	
		レイアウト	3.8	

15	みんなの国保 国保の医療費の実情	テーマ・内容	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病をグラフにしている、理解しやすい。ベスト3の疾病予防記事があってもよいと思った。 ・年齢別・疾病別・患者数別に、市の医療費の実情をデータで示したことは大きな進歩だと思う。これこそ市の広報紙でなければならないことである。解説も平易な文章で要領を得ている。最下段で「ジェネリック医薬品と予防対策」で押さえた流れはマトを得ており、秀作のできばえだと思う。 ・興味深く読んだ。ジェネリック医薬品をもう少し前に打ち出してもいいのかなと思った。 ・今回は、国保の人だけでなく、興味ある内容だったと思う。ただ「患者数」や「生活習慣病に使われた総額」を見てもピンとこなかった。 ・読みにくい。読みたくないという雰囲気。
		文章	3.6	
		写真・イラスト	3.6	
		レイアウト	3.4	
16	いきいき中学生 剣道部員が ゴミ拾い活動	テーマ・内容	4.6	<ul style="list-style-type: none"> ・こういう視点で中学生に焦点を当てた新企画は大ホームラン。内容がいい。文章もいきいきと活動するようすが目に浮かぶような秀逸文である。生徒や先生のコメントも素直で、愛情のこもった語り口に好感。心温まるこういう活動を丁寧ひろっていけば、いつの日か必ず大きな波となって、中学生全体の、あらゆることへのモチベーションを高めてくれることだろう。 ・テーマもよく、普段は見えない中学生の活躍が載せられており、とてもよかった。これからも中学生の記事が増えるといい。 ・こういう活動紹介が、彼らのモチベーションをどれだけ高めることか。広報紙が”中学生の応援団長”を務める気持ちと温かい目で、コーナーを育ててほしい。こういう連載企画こそが、「地域情報紙」の真髄であり、学校と広報紙に地域の関心・注目を集める大きな力になる。非行やいじめを「べき論・教育論」でブツよりも、違った角度から支えるカンフル剤になるかもしれない。「地域みんなが応援してるよ。」という意味でも、将来的には市民から”見聞した取材ネタ”を求めることを考えてもよいのではないのでしょうか。 ・ずっと何年もされている中学生剣道部の掃除、その他にも掃除をしていると聞いたことがありますよ。
		文章	4.6	
		写真・イラスト	4.6	
		レイアウト	4.4	
16	消費生活Q&A 布団の無料 クリーニングの はずが…	テーマ・内容	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・減ることのない高齢者をねらった悪徳商法。事例もさまざまなので役に立ちます。 ・いつも知らないトラブルが多いことに驚きつつも、知ることができていいと思う。 ・相談は布団販売であるが、内容は「訪問販売・無料商法」全般に適用・対処できるもので、照会内容としてはQAにふさわしい事例だと思った。今後もぜひ、こういう視点で取り上げてほしい。その意味では、枠があるから毎回…ということではなく、緊急必要度や関連事項への汎用性などが大きい問題に絞って提供・注意喚起するという窓口担当者と編集者の選択眼が大事だと思う。メリハリが必要。 ・高齢者にとっては大切なことだと思うが、字が小さく、難しい文章だと思う。
		文章	3.4	
		写真・イラスト	3.4	
		レイアウト	3.4	

○そのほか、今月号の広報かしばの内容など

- ・今月号は、にぎやかだった秋のイベントがたくさん掲載されていて、活気を感じました。
- ・最後のページに小さく書かれた冬彩の案内をもう少し大きく打ち出せば、参加者も増えると思う。とてもいい行事なので。
- ・全体的に柔らかく、分かりやすい内容になっていた。子どもが中心だったので、親しみが持てたのではないかなと思う。
- ・冬彩のようすをもっと早く市民のみんなに報告してほしい。終わった後よりも前にすべき。

○広報紙以外の広報活動についてのご意見など

- ・市役所・図書館など、もっとPRしてほしい。NPO法人・ボランティア活動の活性化などPRしてほしい。